

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	観光事業者や観光イベントを開催する実行委員会が加盟している観光物産協会を支援するとともに、観光物産協会と連携して観光情報等の効果的な発信、PRを行い観光客の誘致を図る。観光物産協会はイベント等でのPR活動補助を行う。 職員の業務内容：観光協会等への補助金交付	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
旧市町にあった観光協会が市町村合併後も並立しており、市からの助成は各団体ごとに行われていた。そのため、重複する経費や事務手続きを見直すことができず、経費や時間のロスが発生していた。	平成27年に旭市観光物産協会設立。従来の観光協会は下部組織として内包され、新たに協会事務局の事務員を採用、事務及び協会会員の行うイベントのサポートにあたる。これにより、市商工観光課と物産協会の業務の分担が可能となり、従来以上に市の観光PRや情報発信が行えるようになった。	「物産協会の具体的活動が見えない」や「物産協会へ加入することのメリットがわからない」などの声が会員からもある。

従事職員数 常時 0 人 最大 1 人 × 12 日 = 延べ 12 人

Line graph showing the number of cases (left Y-axis, 0 to 200) and the percentage (right Y-axis, 0 to 15%) for two categories, ア (blue line with diamond markers) and イ (red line with square markers), across five time periods: H29, H30, R1, R2, and R3計画.

Period	ア (Number of Cases)	イ (Number of Cases)
H29	90	90
H30	110	160
R1	115	105
R2	115	50
R3計画	150	105

評価内容	① 進捗状況 ☐完了 ☒順調 ☐概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難															
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)															
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果 比較 動向	比	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
			成果指標イ	↘	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	ア		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画	
			R2年度はコロナウイルス感染拡大により、参加できるイベントが少なかったため。								イ	11	16	8	0	37
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の 方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()							
		通年	- 市と連携した観光PR - レンタサイクル事業の積極的なPR - 会員と連携した地域素材活用事業			通年	- 会員の増加 - 協会の法人化と自主財源確保									